

8050 問題 中高年のひきこもりについて

～ その実状と展望 相談援助における考え方の理解を学ぶ ～

8050 問題は、これまで長い間、問題視され続けていた「高齢化」と「ひきこもり」という 2 つの社会問題です。

内閣府の生活状況調査（平成30年度調査）によると、全国のひきこもり人口は約61万人（240人に一人）にもなっています。

相談援助に携わる地域包括支援センター職員、社会福祉士職など相談に関わる方々は、少なからず8050問題のある世帯を担当されているのではないのでしょうか。

今回は、「8050問題 中高年のひきこもり」について、現在の実状と展望、支援に当たったの考え方や抑えるべきポイント等、支援の際に必要な理解を深める機会としたいと思います。

日 時：2022年3月5日(土) 13:00～16:00(受付 12:30～)

会 場：ビジョンセンター横浜

(横浜市西区北幸2丁目5-15 プレミア横浜西口ビル 3階・横浜駅西口徒歩5分)

講 師：SCS カウンセリング研究所 臨床心理士 榊田 智彦氏

定 員：先着 50 名/対 象：地域包括支援センター職員、その他社会福祉士職

参加費：1,100 円(税込)

(締切後にコンビニ払込取扱票を郵送しますのでそちらの用紙にてお振込みください。)

開催方法：会場とオンラインのハイブリット形式

申込方法：専用 WEB フォームからお申込みください。(裏面)

締 切 日：2 月 25 日(金) 16 時

※オンライン参加に必要な機器 自宅などでパソコン・タブレット端末などからご参加ください。端末に ZOOM アプリを事前にインストールしていただくとスムーズです。オンライン講義のため「データ通信料金」がかかります。Wi-Fi などの環境をお勧めいたします。

※開催形式に関しましては、参加者人数の都合により、会場参加もしくはオンライン参加のご希望に添えない場合があります。また、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、オンラインでのみの開催になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

□ 問い合わせ先 (公社) 神奈川県社会福祉士会

TEL：045-317-2045 Fax：045-317-2046

(月～金 9：00～17：00)

〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2 神奈川福祉センター4F

ホームページ <http://www.kacsw.or.jp> E-mail:web@kacsw.or.jp

一社)SCS カウンセリング研究所副代表

昭和49年生まれ 臨床心理士、東京都世田谷生まれ、多摩育ち。

学生時代から作曲家を目指し 20代前半にグループでプロの音楽家としてCDデビュー。作詞作曲の一翼を担い、ラジオや雑誌媒体においては単独でも活躍した。渋谷公会堂単独公演後、グループ解散によりプロ契約終了。その後はデザイン職とSCS准スタッフに就きながら音楽活動を継続していたが、30歳を前に無二の親友を不幸な形で亡くしたことに壮絶なショックを受けひきこもる。

残された遺書を読みながら毎晩飲酒する生活を続けた末、深い抑うつ状態に陥り自分の死を思うほど人生に絶望する。

カウンセラーであった実母が創始した「親育ち・親子本能療法」の方針の下、実家で静養したことで立ち直る。

その後「人の役に立つ仕事を！」と猛勉強の末、産業カウンセラー取得、(学歴として)30代高卒から大学・大学院へ進学、臨床心理士資格を取得。その過程でひきこもりの学術論文は全て、ひきこもり書籍の殆どを読破。臨床・研究合わせて11年をかけて「親育ち・親子本能療法」を心理学的に体系化。

精神科クリニック勤務を経て現在、一般社団法人SCSカウンセリング研究所副代表。

東京都公立学校スクールカウンセラー、私立大学附属中学高校スクールカウンセラー(平成31年3月末日終了)、親育ち・親子本能療法カウンセラーとして、ひきこもり・不登校支援に従事している。

スクールカウンセラー業務では「親の面接のみ」で再登校生徒を毎年輩出、中学校生活9割不登校の生徒を定着した高校進学へ導いている。

アカデミックな心理学を背景に「親育ち・親子本能療法」を広めるべく講演活動中。

2019年4月「親から始まるひきこもり回復～心理学が導く奇跡起こす5つのプロセス」の出版。

2019年12月3日「中高年がひきこもる理由―臨床から生まれた回復へのプロセス―」発売。

☛メールアドレスを正確に把握するため、専用 Web フォームから 申し込みください。

8050 問題 中高年のひきこもりについて 申し込みフォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S93453569/>

